

2020年度 事業報告

2020年4月1日～2021年3月31日

<2020年度 事業報告>

(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 2020年度を振り返って

2020年度は大きな変化の年となりました。

JAAAは「ビジョン」の3年目、また創設70周年という節目の年でもあり、大きな変革を志した1年でした。しかし一方で新型コロナウイルスの流行により、広告業界も減速と軌道修正を余儀なくされた1年でもありました。JAAAの活動もコロナ禍で縮小し、委員会やセミナーもすべてオンラインで開催されることとなりました。一方で働き方も変わり、出社せずにオンラインで業務を進めることができるという事実、オンラインでのセミナーのほうが集客には適しているという発見もありました。

今年度、特筆すべきはセミナーの充実です。期初の事業計画にも「セミナー事業を根本的に見直し、蓄積された知恵とナレッジをコンテンツとした新たなセミナーを設計する」と記しましたが、それがオンライン事情により圧倒的に変化しました。7月以降の9カ月で20回のセミナーを実施し、これまで参加できなかった若手にもオンラインで参加してもらうことができ、同時に広く全国にも届けることができました。

大事なことは、広告業界がこれからも輝き続け、若い人達が夢を持って生き生きと活躍できる業界とすることです。今後さらに若い人達を巻き込んだ新たな施策に着手し、彼らの思いを受け止め、共有する枠組みを作っていきたいと考えます。

(2) 3年間のビジョン（アクションプラン）の成果

2018年にビジョン「JAAAは、激変する広告業界を支え、業界をリードするエンジンとなる」を発表して3年。会員社の皆様、委員会の皆様と一緒に、目標達成に向けて邁進した3年でした。以下、7つのアクションプランに沿って成果を説明します。

1.「協働スキームの強化」 2018年より委員長会議を開催するなど、委員会の垣根を越えて業界の課題解決を行いました。また業界団体とのスキームを強化し、各団体と連携して、デジタル、働き方、人材育成など業界全体で解決すべきテーマへの迅速な対応と解決策の提示を行ってきました。

2.「人材育成のための新たなチャレンジ」 人材育成委員会を中心に、クリエイティブ委員会や懸賞論文委員会、メディア各委員会や営業委員会等をつなげ、セミナーの開催や新たな情報発信などを通じて、業界の若手や業界を目指す若者へのアプローチを継続してきました。

3.「デジタルへの対応強化」 デジタル広告の対応力強化を目指し、会員社へのデジタルナレッジ共有のセミナー開催等を推進しました。また、デジタル広告品質課題の解決のために、業界が協働して課題解決を図る「JICDAQ」の設立に貢献しました。

4.「働き方改革」 広告業界の働き方を変えるために、委員会での議論を踏まえ、JAAAをはじめとする団体との交渉や検討により、具体的な施策を策定してきました。一方でコロナ禍により働き方改革が大きく進んだことをうけ、各社の具体的アクションの共有を行いました。

5.「メディアビジネスの活性化」メディアの価値向上と活性化のために、各委員会で計画するセミナー等で情報発信を継続してきました。またメディア環境の変化に対応して、デジタルインフラ整備等、業界横串での課題を解決、メディア活性化というテーマを推進しました。

6.「クリエイティブの強化」業界の最大テーマであるクリエイティブ性の向上をテーマに、クリエイター・オブ・ザ・イヤーの選出とアピールを基本に、受賞者のセミナー等を通じて会員社が必要とするナレッジを提供、広告クリエイティブの魅力を広く世の中に広めました。

7.「PR戦略の再構築」次世代に向けた情報発信のあり方を検討し、若手を中心としたナレッジ配信やSNSの開始など、JAAAとしての具体的施策を事務局中心に実施してきました。

ビジョン3年目を終え、JAAAの活動は大きく進化したといえます。広告会社が成長を続けるためにも、業界の垣根を越えた「協働スキーム」が重要という認識を持ち、業界団体とも連携してチャレンジを続けてきました。「デジタル対応強化」や「人材育成」でも各委員会と協力し、他団体とも一体となって活動につなげることができました。この3年間、業界を支えるエンジンとしての機能を、意識して向上させることができたと考えております。

改めて30年後の100周年に向かって一步を踏み出し、これからの広告業界の進むべき未来に向かって2021年度をスタートさせなければなりません。関係各位のご支援ご協力を改めてお願い申し上げます。

<各委員会 事業報告>

【1】ビジネス統括委員会（担当理事：神田橋 治 委員長：前田 真一）

統括する各委員会を横断してサポートする体制で、業界全体の広告ビジネスの課題解決に取り組んだ。

【1-1】経理委員会（委員長：三宅 大）

2021年から適用される「収益認識基準」について委員会での情報共有。また2023年から導入されるインボイス制度「消費税の適格請求書等保存方式」について財務省に対応し、業界全体の課題として会員社への説明会を開催した。

【1-2】情報システム委員会（委員長：川上 勲）

定点観測として実施している「情報システムアンケート」では、新型コロナウイルス対応でシステム部門がリモートワークにどう対応したかをまとめ、JAAAウェブサイトとJAAAレポートで共有した。また業界共通の課題として「オフィス365」「情報セキュリティ」「事業継続計画」について、ワーキンググループで現状把握と検討を進めた。

【1-3】法務委員会（委員長：長谷川 雅典）

新型コロナウイルスの対応で、電子契約・電子署名の事例を共有した。また、公正取引委員

会より周知依頼のあった、課徴金の減免制度などを内容とした「改正独占禁止法施行に伴い導入される新制度」について説明会を開催し、会員社に情報提供した。

【1-4】制作取引委員会（委員長：沼澤 忍）

2020年4月と翌1月の緊急事態宣言発出に対応し、3密を避けた広告制作のためのガイドラインを会員社に周知した。またJACより「Withコロナ感染予防対策と事業活動 ウェブセミナー」の開催にパネリストの依頼があり、これに対応した。

【1-5】営業委員会（委員長：降旗 淳）

新型コロナウイルス時の「営業」の出社状況やリモートワークについて意見交換を行った。また、CMオンライン運用について最新状況の報告と課題の共有を行った。

【2】メディア委員会（担当理事：大森 壽郎 委員長：石川 豊）

<CM素材オンライン運用推進プロジェクト>

2020年に系列局全局114局がオンライン運用となり、送稿本数は累計で51万本を超え、広告主は約900社を数える。プロジェクトではこの数字をさらに増やすための活動を推進すると同時に、次世代のシステム運用に向けた新たな検討をスタートした。

<OOH新共通指標策定プロジェクト>

新型コロナウイルスの影響でOOH媒体の価値の見直しが検討されたことを受け、メディア横断統合プランニングを行う際にOOH広告の標準的な新指標を策定するために、JAAおよびOOH関連の企業や団体と連携してプロジェクトを組成、活動を開始した。

【2-1】テレビ委員会（委員長：磯村 美樹）

- ①テレビCM素材搬入においてHDTVカセットテープが2021年3月末で搬入基準外になることについて、民放連CM運行WGとJAAACM運行WGとの合同で、関係者に対する周知を行った。
- ②「字幕付きCM普及推進協議会（第6期の幹事はJAAが担当）」では、字幕付きCMが放送される放送枠を増やすこと、字幕付きCMを制作する広告主を増やすこと、の段階的な工程を示した「ロードマップ」を3団体で策定し、発表した。
- ③「有事に関する懇談会」に関して、緊急事態宣言への有事の認識の確認、ACジャパン有事対応素材の検討等、JAA、在京5社と懇談会を実施した。
- ④「放送確認書誤記載調査」を2回実施。今までの調査結果と同様で広告主名の誤記載が最も多く、ほぼ人的作業ミスによるもので、民放連に注意喚起を申し入れた。また、新型コロナウイルスの影響を受け、出社をとまなわないペーパーレスなど次世代型の放送確認書の検討を申し入れた。

【2-2】ラジオ委員会（委員長：大木 秀幸）

ラジオCM進行表オンラインシステムをリリースして利便性を改良し、これを周知する「ラジオCMオンライン運用説明会」を開催した。ラジオCM素材のオンライン送稿については

累計23万本を超え、順調に推移している。

またビデオリサーチより、ラジオ広告統計データ調査継続のためRadi Posのデータを活用したいとの提案があり、検討を行った。

【2-3】新聞委員会（委員長：榎本 規成）

新聞広告の価値向上のために、3回目となるJAAとの共催セミナーを1月に開催した。また新聞広告掲載確認調査を実施しJAAへの報告を行った。

【2-4】雑誌委員会（委員長：森 紀一郎）

第3回雑誌セミナー「出版社によるオンラインイベントの可能性」を3月に実施、会員社への情報提供を行った。また雑誌のオンライン新システム仕様について改善要望をまとめデジタルセンドに提出した。

【2-5】交通広告委員会（委員長：菊田 眞弘）

新型コロナウイルスの影響で人出が減り、OOH広告への影響が懸念されたため、JAAの要望で11社会やJAFRAとともに意見交換会に参加した。それを受け「OOH新共通指標策定プロジェクト」をスタートさせるため、委員長がプロジェクトに参加する。

【2-6】インターネット広告委員会（委員長：石川 直樹）

デジタル広告品質課題を検証するJICDAQ（デジタル広告品質認証機構）の設立に向けて、JAA、JAAA、JIAAをメンバーとする合同準備委員会で検討を行い、2021年4月の組織立ち上げを決定した。また「海賊版サイトへの広告出稿抑制に関する合同会議」をコンテンツ海外流通促進機構、JAA、JIAA、JAAA、出版広報センター、日本動画協会で開催した。

【2-7】メディア調査研究委員会（委員長：牧野 聡）

ビデオリサーチより、R&F+パラメータの次回更新概要とコロナの影響分析と、ラジオ広告統計データ調査継続のためのRadi Posのデータ活用について説明を受けた。

【2-8】メディア業務改善委員会（委員長：井上 聡）

コロナ禍の業界対応指針として「新型コロナウイルス感染拡大時を想定した広告メディア業務対応について」をまとめ、5月に発表した。またテレビCMオンライン運用の推進について定期的に検討を行い、CM素材オンライン運用推進プロジェクトでの説明会や、素材搬入事業者やCAB-Jなど関係者との意見交換会を実施した。

【3】クリエイティブ委員会（担当理事：中田 安則 委員長：能登 健裕）

「2019年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞」受賞者による地方での講演はコロナにより中止となり、代替として受賞者によるセミナー（受賞者10名の動画配信、イヤー受賞者2名の対談）をウェビナーで実施した。

「2020年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞」については3月に審査会をオンラインで開催、イヤー1名とメダリスト9名を選出した。表彰式は2021年5月末の定時総会後に行われる。またクリエイティブ研究会のセミナーをオンラインで開催すべく、計画を進めている。

【3-2】著作権委員会（委員長：小竹 伸幸）

JAAからの依頼を受け、広告関連法規セミナーに講師を派遣、協力した。

【4】人材育成委員会（担当理事：桑原 常泰 委員長：松浦 啓子）

4月の会員社に向けた「新入社員教育セミナー」はコロナ禍で中止。12月に同業他社同期とのつながりや広告会社で働くことについてのモチベーションアップを目的に「広告会社若手社員オンラインディスカッション～同期・先輩と話そう」をオンラインで開催し、会員社より14社71名の参加を受けて実施した。2021年度の「新入社員教育セミナー」はオンラインで開催する。

【4-1】広告ビジネス入門発行委員会（委員長：中馬 淳）

隔年で改訂している「広告ビジネス入門」について今後の検討を行った。2020年3月に新版を発行したため、今回は2022年の発行となる。

【4-2】懸賞論文委員会（委員長：宇賀神 貴宏）

「広告、次の10年」をテーマに募集した懸賞論文には、前年度並みの応募があった。10月より審査を開始、3月の最終審査会をオンラインで開催し、入賞・入選を選出した。

「論文の部」金賞、銀賞、銅賞各1名のほか、「私の言いたいこと」一般部門6名、新人部門4名が入選した。表彰式は2021年5月末の定時総会後に行われる。

【4-3】海外交流委員会（委員長：高橋 修）

新型コロナウイルスの影響で海外への研修団の派遣は中止とした。それを受け、委員会社の海外現地駐在員より、「2020年コロナ禍においてどのような体験をしたか」「各地の広告（業界）は、どのような状況であったか」「今後、コロナ禍で広告はどのようにになると予測するか」などをレポートしていただき、そのまとめをJAAAウェブサイトに掲載した。

【4-4】イノベーション委員会（委員長：未定）

第8回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞（JAAA若手大賞）」審査会をオンラインで実施した。第1次、第2次、最終審査を経て、同賞実行ワーキンググループが審査した結果を、理事会の承認を経た上で2021年4月に発表する。

【5】PR委員会（担当理事： 委員長：山崎 正道）

2021年度の「広告の広告」について、担当の電通から提案があり、「アイデアの半分は愛だろ。」に決定した。掲載は4月からスタートする。

【5-1】会報編集委員会（委員長：高澤 正行）

緊急事態宣言発出により、編集スケジュールを調整し6月号7月号を合併号として発行した。合併号では、協会設立70周年を受け「これからの広告業界」を見据えた内容を企画、掲載した。またより多くの会員社に情報を届けるためJAAAウェブサイトへの記事掲載を始めた。

【5-2】広告の機能と役割研究委員会（委員長：松本 順）

コロナにより通常の研究発表セミナーが開催できなかったため、「With/Afterコロナ時代に企業・ブランドは広告にどう向き合うべきか」のテーマに基づいて、オンラインセミナーを4回実施した。第1弾「コロナ禍による、生活者の変化を知る」、第2弾「コロナ禍による、メディアの変化を知る」、第3弾「コロナ禍による、クリエイティブの変化を知る」、第4弾「コロナ禍による、Experienceの変化を知る」のテーマで随時セミナーを実施、毎回300名を超える参加者があった。

【5-3】CSR委員会（委員長：木下 浩二）

第9回目となるポスター募集は、SDGs（持続可能な開発目標）をテーマに募集を行い、最優秀作品はポスターにして会員社に配布した。また、「広告人のための環境コミュニケーション入門」を、テーマをCSRに広げて改訂を行うと同時に、2021年2月には「SDGsの現状と、広告会社の役割」をテーマにオンラインセミナーを開催した。

【6-1】新しい働き方委員会（委員長：今泉 智幸）

円卓会議の4団体JAA、JAAA、JAC、OACの事務局レベルで、コロナ禍での働き方の進捗について現状を共有した。

【6-2】広告問題研究委員会（委員長：北原 利行）

委員会で議論し、「コロナ禍を記録する」というテーマで業界の変化を記録すべきとの判断のもと、「メディアとコロナ」「広告主とコロナ」「消費者とコロナ」「広告会社とコロナ」「法務とコロナ」「マクロ経済動向とコロナ」に関するアンケートを行い、委員長が原稿にまとめてJAAAレポート3月号の特集として掲載した。

【7】運営委員会（委員長：植野 伸一）

理事会に提出議案、及び協会運営に関する事項について検討を行った。

【7-1】入会資格審査委員会（委員長：内藤 好徳）

入会申請1社の資格審査を行い、理事会で入会の承認を得た。

【7-2】財務委員会（委員長：植野 伸一）

2020年度決算見込、2021年度予算案について検討を行った。

【7-3】吉田秀雄記念賞選考委員会（委員長：内藤 好徳）

第55回は個別に受賞者を訪問し贈賞を行った。また、第56回の選考を行った。

【7-4】役員選挙管理委員会（委員長：丹羽 信一）

2021年度の役員改選（任期2年）に向けて準備を行った。

<事務局運営報告>

（1）令和3年広告界合同年賀会

2021年1月6日（水）に帝国ホテルで予定されていた「合同年賀会」はコロナ禍の影響で中止。代わりに共催28団体の会員社に全広連の大平理事長から、ARを使った鏡割りが見られる「年賀メール」が配信された。

（2）会員代表者懇談会

2020年12月開催予定の代表者懇談会は、コロナ禍を受けて中止となった。

（3）全国広告業団体連絡会議

前期・後期の情報連絡会はいずれも開催を見送り、全国の団体から、各地の景気状況や広告業界の報告を受け、レポートとして配布した。令和2年度理事会・通常総会も書面決議として行われた。

（4）広告関係団体連絡会「広告のミライ」プロジェクト

広告関係団体連絡会で推進してきた「広告業界若手、広告業界を目指す学生への魅力喚起」に向けたプロジェクトを推進、以下の活動を行った。

- ①ポータルサイトを作成、各団体の若手向け・学生向けの取り組みを紹介
- ②大学に出向いて広告の魅力や広告業界の知識を伝える授業への講師派遣、講演動画の提供
- ③就活サイトと連携し、学生に興味を持ってもらうためのコンテンツ作成・配信

（5）広告3団体連携デジタル事業構想「JICDAQ」について

広告3団体（JAA、JAAA、JIAA）で議論を続けてきた、デジタル広告の品質課題解決のための組織「一般社団法人 デジタル広告品質認証機構（通称JICDAQ）」の検討を進め、2021年4月の組織立ち上げに至った。各団体専務理事をJICDAQ理事として、今後は具体的なアクションに移っていく。

（6）JAAAセミナーの実施について

コロナ禍により通常のセミナー実施ができなくなったため、7月より全てオンラインに切り替えて実施。デジタル環境の整備も進み、年間で20回のセミナーを実施することができた。今後もオンラインとリアルのセミナーを併用し、広く多くの会員社に適切な情報を提供できるよう検討を進めていく。

<定時総会報告>

2020年度「定時総会」を、2020年6月1日（月）13時30分～14時に「電通銀座ビル・8階会議室」にて開催した。

新型コロナウイルスの影響を鑑みて、理事長、副理事長、専務理事、常務理事、および監事1名による限定出席としたが、議決権のある会員代表者の委任状提出115名を加えて、出席者は計120名となり有効に成立した。

報告事項の説明の後、決議事項として第1号議案、第2号議案を承認し、閉会した。

[報告事項]

1. 2019年度事業報告の件
2. 2020年度事業計画並びに収支予算報告の件

[決議事項]

- 第1号議案 2019年度決算報告承認の件
第2号議案 2020年度役員選任の件

理事の退任に伴い、第317回理事会にて選出された役員候補者4名と専務理事の選任を承認した。任期は前任者の残任期間。

【理事】

中村 哲也	株式会社	昭通	代表取締役社長
遠藤 弘暢	株式会社	電通アドギア	代表取締役社長
川上 宗一	株式会社	電通デジタル	代表取締役社長
高瀬竜一郎	株式会社	フロンテッジ	代表取締役社長

【専務理事】

橋爪恒二郎	株式会社	電通	ビジネスプロセスマネジメント局アソシエート・パートナー
-------	------	----	-----------------------------

* 本総会をもって退任した役員は、村井専務理事1名。

なお、例年定時総会後開催していた、記念式典、懇親パーティーは中止した。

＜理事会開催報告＞

2020年度は理事会5回を開催、「報告事項」を説明し、以下の「決議事項」の承認を得た。
なお、第317回、第318回、第320回理事会は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、書面審議とした。

第317回理事会（4月25日）

1. 2019年度決算報告承認の件
2. 2020年度収支予算（補正）案承認の件
3. 2020年度役員候補者承認の件
4. 2020年度定時総会招集通知案承認の件
5. 利益相反取引報告承認の件

第318回理事会議（7月24日）

1. 役員退職慰労金の件
2. 利益相反取引報告承認の件

第319回理事会（10月28日）

1. 2020年度上期収支決算報告承認の件
2. 利益相反取引報告承認の件

第320回理事会（1月31日）

1. 入会申請承認の件
2. 利益相反取引報告承認の件

第321回理事会（3月26日）

1. 2020年度事業報告案・2021年度事業計画案承認の件
2. 2021年度収支予算案承認の件
3. 第56回吉田秀雄記念賞受賞者承認の件
4. 第50回懸賞論文入賞・入選者承認の件
5. 2020年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞受賞者承認の件
6. 第8回広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞受賞承認の件
7. 2020年度定時総会開催承認の件
8. 事務局職員就業規則改訂承認の件
9. 利益相反取引報告承認の件

<理事の辞任>

敬称略

◇ 2020年6月25日付

阿久津光志 株式会社 ジェイアール東海エージェンシー

◇ 2020年6月29日付

棚田 京一 株式会社 デルフィス

◇ 2020年8月26日付

山田 淳史 株式会社 協和企画

◇ 2020年12月31日付

内藤 好徳 株式会社 内藤一水社

◇ 2021年1月31日付

アントニー・カンディー 株式会社 マツキャンエリクソン

◇ 2021年3月31日付

加藤 和豊 株式会社 I & S B B D O

<2020年度協会役員>

2021年3月31日現在

(敬称略)

会 長	高嶋 達佳	株式会社	電通 相談役
理 事 長	成田 純治	株式会社	博報堂 相談役
副理事長	植野 伸一	株式会社	A D Kホールディングス 代表取締役社長グループ CEO
副理事長	岩井 秀一	株式会社	大広 相談役
副理事長	石井 直	株式会社	電通グループ 相談役
専務理事	橋爪恒二郎		
常務理事	荒木 利孝		
理 事	加藤 和豊	株式会社	I & S B B D O 取締役
理 事	上田 周	株式会社	朝日広告社 代表取締役社長
理 事	外谷 敬之	株式会社	N K B 代表取締役社長
理 事	大塚 尚司	株式会社	オリコム 代表取締役社長
理 事	加藤 雅己	株式会社	クオラス 取締役相談役
理 事	落合由紀子	株式会社	グレイワールドワイド 代表取締役社長兼 CEO
理 事	川村 晃司	株式会社	三晃社 代表取締役社長
理 事	原口 幸	株式会社	ジェイアール東日本企画 代表取締役社長
理 事	中村 哲也	株式会社	昭通 代表取締役社長
理 事	巴 一寿	株式会社	第一通信社 代表取締役社長
理 事	遠藤 弘暢	株式会社	電通アドギア 代表取締役社長
理 事	川上 宗一	株式会社	電通デジタル 代表取締役社長
理 事	桑原 常泰	株式会社	東急エージェンシー 代表取締役会長
理 事	鐘ヶ江弘章	株式会社	とうこう・あい 代表取締役社長
理 事	神田橋 治	株式会社	T O M O E 代表取締役社長
理 事	丹羽 信一	株式会社	日本経済広告社 代表取締役会長
理 事	富田 賢	株式会社	日本経済社 代表取締役会長
理 事	波岡 修	株式会社	日本広告社 代表取締役社長
理 事	戸田 裕一	株式会社	博報堂D Yホールディングス 代表取締役会長
理 事	大森 壽郎	株式会社	博報堂D Yメディアパートナーズ 取締役会長
理 事	高瀬竜一郎	株式会社	フロンテッジ 代表取締役社長
理 事	大村 勝	株式会社	毎日広告社 代表取締役社長
理 事	中田 安則	株式会社	読売広告社 相談役
監 事	湯澤 齊	広告社株式会社	相談役
監 事	寺尾 芳紀	株式会社	電通東日本 代表取締役社長
監 事	早川 浩	株式会社	ハヤカワ 代表取締役社長
相 談 役	俣木 盾夫	株式会社	電通 相談役

2020年度 事業トピックス/表彰報告

第50回懸賞論文 入賞・入選者

「論文」課題：広告、次の10年

- 金賞 小幡 朋州** 「BtoB&C事業投資モデル= これからの広告会社の『売り』と『売る物』
～"事業リスク・リターン概念"という武器で"Incubatability"が輝く～」
博報堂（博報堂プロダクツ執行役員経理室長）
- 銀賞 竹内 好文** 「広告の《礎》を築く10年に。」
電通 ソリューションクリエイションセンターシニア・ソリューション・ディレクター
- 銅賞 荻野 茂男** 「母なる資本主義を越えてゆけ ～持続可能性を訴求する広告は、持続可能なのか？～」
博報堂 第二BXマーケティング局マーケティングプランニングディレクター

「私の言いたいこと」一般部門

○第1テーマ 営業、アカウントマネジメント

- 入選 伊村 彩** 「主観+客観の営業力」
日本経済社 第3営業局第1営業部次長

○第2テーマ メディア、メディアプランニング・開発

※該当なし

○第3テーマ 戦略プランニング、プロモーション、PR

- 入選 中田 綾菜** 「私たちの新しい生き様 ～広告代理店から産業プロデューサーになるまで～」
博報堂 第三BXマーケティング局ストラテジックプランニング四部イノベーションプランナー

○第4テーマ クリエイティブ、コミュニケーションデザイン

- 入選 渡辺 光** 「『手順のクリエイティビティ』～今、広告プランナーが発揮すべき力～」
博報堂 第三BXクリエイティブ局長島チームエクスペリエンスプランナー
- 入選 田貝 雅和** 「クリエイティブ・ディレクションの拡張 ～より良い社会をつくる創発的指針～」
TBWA\HAKUHODO コンサルティング局 Disruption Consulting Disruption Strategist

○第5テーマ デジタルマーケティング、テクノロジー、ソーシャルメディア

※該当なし

○第6テーマ 管理（人事、人材育成、総務、経理、システム、法務、広報、経営管理等）

- 入選 徳吉 哲秀** 「これからの新卒採用PRにはStoryを ～物語広告の手法に学ぶStory Case型採用PRのススメ～」
ADKマーケティング・ソリューションズ DDMアカウント・マネジメントセンター
第3アカウント・マネジメントユニットアカウント・エグゼクティブ

○第7テーマ その他（第1～6テーマにあたらぬもの）

- 入選 亀山 倫華** 「価格がつけられない“顧客体験”の哲学的効用～主体的に生きるために」
博報堂 第一BXマーケティング局プランニング三部マーケティングプランニングディレクター

「私の言いたいこと」新人部門 テーマ：自由

- 入選 森平 周** 「ブランデッドヒューマン/行動する広告」
日本経済社 クリエイティブ局第2部コピーライター
- 入選 成瀬 翔太** 「『ペこば』から学ぶ多様性時代のコミュニケーション
～ダイバーシティからインクルージョンへの変遷の中で」
大広 大阪ブランドアクティベーションプロデュース本部
D2Cビジネス推進局コンサルティングチーム2
- 入選 松金 里佳** 「わたしたち若者がD2Cを好む、本当の理由」
ADKマーケティング・ソリューションズ ストラテジックプランニングセンター
第2ストラテジック・プランニングユニット第4ストラテジック・プランニンググループプランナー
- 入選 宮武 朋未** 「『HIKAKIN募金』に学ぶ、ソーシャルグッドの“巻き込み方”」
小田急エージェンシー コミュニケーションデザイン局プランニング部

2020年 クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞 受賞者

2020 CREATOR OF THE YEAR

眞鍋 亮平 電通 第5CRプランニング局 グループ・クリエイティブ・ディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- 大塚製薬株式会社 ポカリスエット 2020「ポカリ NEO 合唱」
- 株式会社アシックス「ぜんぶ、カラダなんだ。」「ASICS FIRST RUN」
- 株式会社 NewsPicks Studios Chief Creative Officer (ほか)

2020 CREATOR OF THE YEAR MEDALIST

市川 直人 TBWA\HAKUHODO Disruption Lab Creative Director/Copywriter

【主なクリエイティブワーク】

- UNIQLO HEATTECH グローバルキャンペーン「#WeStayWarmTogether」 (ほか)

志村 和広 電通 第4CRプランニング局 クリエイティブ・ディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- 「TUNA SCOPE」(くら寿司など)
- トヨタ自動車「OPEN ROAD PROJECT」
- 日本経済新聞社「NIKKEI BLEND」 (ほか)

吉岡 由祐 大広 WEDO 東京クリエイティブカ Division チーム東京実行カ1 クリエイティブディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- Panasonic オーディオプロモーション・ラジオ CM
音響システム「Voice of Home ~帰っておいでアナウンス~」
ラジオ CM ロボット掃除機ルーロ「学習するチカラ」 (ほか)

吉兼 啓介 博報堂 第3クリエイティブ局 CMプランナー/チーフディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- 日清食品 ラ王「天使の兄妹」シリーズ
- OPEN HOUSE CM「夢見る小学生」シリーズ (ほか)

伊藤 裕平 TBWA\HAKUHODO Disruption Lab Creative Director/Art Director

【主なクリエイティブワーク】

- UNIQLO「CURVED PANTS」
- NISSAN「ProPILOT GOLF BALL」「NISSAN PAVILION」 (ほか)

大八木 翼 S I X/博報堂 エグゼクティブクリエイティブディレクター/パートナー

【主なクリエイティブワーク】

- SMBC 日興証券「日興フロッギー」
- Hermès「オレンジクリスマス」
- 森ビル「Mori Building Urban Lab」 (ほか)

小塚 仁篤 ADK クリエイティブ・ワン

クリエイティブ本部/SCHEMA クリエイティブ・ディレクター/クリエイティブ・テクノロジスト

【主なクリエイティブワーク】

- オリイ研究所「分身ロボットカフェ DAWN ver.β」
- 理化学研究所 数理創造プログラム (iTHEMS)
「Useless Prototyping Studio Project #01: Black Hole Recorder」 (ほか)

三谷 健 グレイワールドワイド クリエイティブ クリエイティブディレクター/アートディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- SK-II「THIS IS ME」「#NOCOMPETITION 美は #競争ではない」
- PANTENE「The Hairy Tale」 (ほか)

外山 徹郎 ハッピーアワーズ博報堂 クリエイティブディレクター

【主なクリエイティブワーク】

- SUNTORY「緑の伊右衛門」「ザ・プレミアム・モルツ」
- BRIDGESTONE「100人のちゃんと買い」
- DAIHATSU「トール」 (ほか)

第8回 広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞(JAAA若手大賞)

大賞

THE FIRST TAKE

コミュニケーションの主体：非公表
推薦者：国分 孝平（日本経済社）

優秀賞

○知財図鑑 | 新規事業のための知財データベース

コミュニケーションの主体：株式会社知財図鑑
推薦者：国分 孝平（日本経済社）

○「もうどう広告したらいいかわからないので。」ケースバイケース新聞広告

コミュニケーションの主体：大日本除虫菊株式会社
推薦者：加藤 壮馬（読売広告社）

○さきめし

コミュニケーションの主体：サントリーホールディングス株式会社
Gigi 株式会社
推薦者：秦 瞬一郎（読売広告社）
寺島 慎吾（大広）

○裏面自販機

コミュニケーションの主体：ダイドードリンコ株式会社
推薦者：永田優太郎（ジオメトリー・オグルヴィ・ジャパン）

○UNIQLO KIDS コットン前あきクルーネックボディスーツ（半袖）

コミュニケーションの主体：株式会社ユニクロ
推薦者：高尾 千花（トヨタ・コニック・プロ）

ファイナリスト

○JANAI COFFEE

コミュニケーションの主体：JANAI COFFEE
推薦者：榊 賢太郎（ジェイアール東日本企画）
木戸健太郎（ジェイアール東日本企画）
中山 有理（大広）

○とつぜんはじまる避難訓練

コミュニケーションの主体：福岡市役所市民局
LINE Fukuoka 株式会社
推薦者：宗海 皓己（ジェイアール東日本企画）

○THE TOKYO TOILET 代々木深町小公園トイレ

コミュニケーションの主体：公益財団法人 日本財団
推薦者：岸 弘都（朝日広告社）

※ファイナリストは最終審査に残った施策を指します

※推薦者の所属は応募時点。社名は2021年4月1日時点。

CSR委員会 SDGsポスター入賞作品

最優秀賞

戸口さやか (スコープ)

○新しい“あたりまえ”を作ろう。

優秀賞

盛 雅功、田邊 大 (ADK クリエイティブ・ワン)

○アイデアが、ワクチンだ。

丸原 孝紀、堀内有為子、中村ゆとり、古林 萌実 (東急エージェンシー)

○問題は、つながっている。

第56回吉田秀雄記念賞 受賞者

個人賞

○桑原 常泰 (株式会社 東急エージェンシー 代表取締役会長)

1949年生れ 71歳

〔略 歴〕

1975年 3月 早稲田大学 大学院修了

1975年 4月 東京急行電鉄株式会社 入社

2003年 6月 同社 取締役

2006年 6月 同社 常務取締役

2010年 3月 株式会社東急エージェンシー 代表取締役社長

2011年 4月 東京急行電鉄株式会社 専務取締役

2017年 6月 株式会社東急エージェンシー 代表取締役会長

〔協会役職〕

2011年 5月～当協会運営委員会委員、教育セミナー委員会

(現:人材育成委員会)担当理事 現在に至る

[贈賞理由]

2011年、協会理事に就任。以来、長きにわたり協会運営に貢献し、広告業界の発展向上のために尽力されている。2012年に運営委員会と教育セミナー委員会（現：人材育成委員会）担当理事に就任。

以来、人材育成委員会（教育セミナー委員会が改称）担当理事として、協会の人材育成に関わる委員会を統括し業界全体の人材育成に貢献された。特に広告会社の若手の育成サポートや広告会社の魅力を学生に伝える施策等若手の人材育成に貢献された。

グループ賞

該当なし